

花き小売業界として国内初

Facebook アプリを通じてユーザーの写真やメッセージを組み込んで贈る メッセージカードとサーバ管理型ギフトカードを1つにした オリジナルフラワーギフトカードを4月13日(金)に発売

株式会社日比谷花壇(本社:東京都港区、代表取締役社長:宮島浩彰)は、贈る側の写真やメッセージを組み込んで贈る、メッセージカードとサーバ管理型ギフトカードを1つにしたオリジナルフラワーギフトカード[4,200円(税込、送料別)]を4月13日(金)に発売します。オリジナルメッセージや写真をプリントして送ることができるサーバ管理型フラワーギフトカードは、花き小売業界初となります。

このオリジナルフラワーギフトカードは、ペーパーカードタイプの商品券で、カードを受け取った人は、当社のフラワーギフトカード専用ページ(<http://www.hanabanacard.com>)にアクセスし、ログインページから、カード裏面に記載されている16桁のカード番号とPIN番号を入力すると、フラワーアレンジメントや花鉢、プリザーブドフラワーなどの交換商品の中から好きな商品を選ぶことができます。カード発行日から1年間有効です。ギフトカードのデザインは4種類で、カード表面には、当社のデザイナーによるフラワーアレンジメントのフォトをデザインしています。

販売は、株式会社電通(本社:東京都港区、以下電通)が事業主体となり、株式会社JPメディアダイレクト(本社:東京都港区、以下JPMD)に全面業務委託をする、住所が分からない友人・知人にも郵便物を送ることができる、Facebookを活用した郵便の新しいサービス事業「Postman(ポストマン)」(2011年11月からサービス開始、Postman Facebook ページ: <https://www.facebook.com/postman.jp>)のFacebookアプリ上で行い、発送先が国内の居住者の場合に利用できます。

このフラワーギフトカードでは、当社がサーバ側でギフトカードの有効化ができるため、郵便サービスで送る際には有効化前のメッセージカードとして送ることができます。当社は、2011年3月から、サーバ管理型ギフトカード「日比谷花壇 ハナバナカード(HanaBanaCard)」を導入しており、今回のオリジナルフラワーギフトカードでも、この「日比谷花壇 ハナバナカード」と同じシステムを利用しています。

今後は、オリジナルフラワーギフトカードの販路を拡大し、新たな顧客層の開拓を進めていく考えです。

<表面>



この部分に贈る側のユーザー写真が入ります。

○の部分にオリジナルメッセージが入ります。

<裏面>



株式会社日比谷花壇について

1872年創業、1950年に東京・日比谷公園店の出店後、株式会社日比谷花壇を設立。現在、全国に約180店舗を展開。フラワーディスプレイ、フラワーギフトの企画・制作・販売、装花を伴うイベントのプロデュース等を行い、花とみどり溢れるライフスタイルを提案しています。今後もさまざまな日常の生活のシーンの中に、花とみどりのある生活文化を創造していきます。